

### “志太の郷まつりのこと” (2018.11.12)

昨年 11 月に南新屋からふじみ台に戻って 1 年が経ちました。しかし、20 年も 住み、壮年会長まで経験させて頂いた南新屋の皆さんとお付き合いは続けさせて頂いており、昨日は南新屋壮年会として(本当は南新屋町内会としてです が)「志太の郷まつり」に 1 日参加させて頂き、皆さんと一緒にたい焼き 540 匹(販売 520 匹)を焼かせて頂きました。同時に、同じテントで南新屋壮年会 として約 300 個の焼きいもを販売しました。そのうえ、図々しく夕方から(実 際は私だけ 14 時半から南新屋会館で飲んでましたが)の慰労会にも参加させて頂き、楽しく過ごさせて頂きました。南新屋壮年会の皆様、ありがとうございました。12 月 15 日の忘年会も誘われましたが、土曜日はあいにく仕事ですので失礼しますが、嬉しい限りです。20 数年前、ここふじみ台でも壮年会結成を試 みましたが、ならず。でも、やはり地域での繋がりは大事にしたいものです。大晦日、「年越しそばを自分で打ってみませんか？」って書いたチラシで、助 宗・ひだまりでの「大晦日年越しそば作り」を呼びかけ、そのきっかけ作りで もしょうかな？

### “不登校の対応” (2018.11.3)

この 7 月 18 日に対応して 1 カ月弱で、東京都世田谷の中学 3 年生が再登校し 始め、10 月 4 日にも対応して 1 ヶ月余りで、藤枝市内の中学 3 年生が再登校し 始めました。先週も藤枝市内の中学 2 年生が、まだまだ不完全ながら学校に登 校し始めています。またこの間に、2 名の若者が行く先の進路も模索し始めまし た。25 年余心理学を活用して様々な子ども達の対応を始めて、204 名もの子 ども達のその解消のお手伝いをさせてきました。しかし、204 名みんな対応は異な り、マニュアルはなかなかできないものです。ただ一点共通していることは、 この子の将来のために必ずその素因を見つけ解消させるという気概です。数カ 月の対応を得て解消した時の笑顔が、最高のお返しです。

### “されど、GOカート” (2018.11.2)

今日虹の架け橋菊川小笠教室の日本語を母語としない子ども達の社会見学で、 浜松市の「クイック浜名」の池田社長さんのご厚意で、GOカートを経験させ 頂きました。エンジン付きのGOカートは、遊園地の電気ゴーカートと全く 違う体感にびっくり。それに乗った後のあの達成感は自信の回復にも繋がり、 不登校・引きこもりの青少年たちの解消プログラムに活用できます。また、「こ れから乗ろうとしている人が他の人がGOカートに乗っているのを見るスピー ド感と、見物人として見るスピード感は全く違う」との池田社長の言葉、納得 でした。「たかがゴーカート。されど、GOカート」を実感した 1 日でした。

### “R君のこと” (2018.11.1)

彼は祖父が日本人の日系 3 世フィリピン人である。中学 3 年の 11 月に親の都 合で来

日。ところが、焼津市独自で日本語指導するとのことで、弟と妹は小学校就学が認められたものの、彼は日本語が全く分からぬまま中学校卒業資格取得だけのために（勿論、親の都合で来日したからそれだけの理由ですが）焼津市立和田中学校に就学することが認められず、ふじのくに中央日本語学校に来た。驚異的な彼の努力で僅か半年で日本語の日常会話を習得し、11ヶ月後の昨年10月、中卒認定試験を受験し、英語・数学・理科・社会の4科目に合格。1年後の先月25日、残りの国語の中卒認定試験に再挑戦しました。結果は12月中旬に出る。しかしながら、焼津市独自で日本語指導するのならば、2年前の11月に和田中学校就学をさせて頂ければ、こんなに優秀な子が高校進学のために2年も足踏みをすることがなかったと悔やむばかりです。

#### “杉山隆一氏との楽しいお酒。”（2018.10.31）

昨日また、メキシコオリンピックサッカーで日本が第3位に輝いた時のMF、「黄金の足・杉山」と称された杉山隆一氏と、ホント楽しいお酒のお供をさせて頂きました。ありがとうございました。サッカーはただただ見るのが好きで剣道少年の私が、20数年前チームの新聞を書いていた藤枝ブルックスのJリーグ参入問題がらみで、藤枝東の先輩で当時の県会議員の紹介で氏とお会いして以来、特にここ数ヶ月の間、毎月の如くホントに楽しいお酒のお供をさせて頂いております。昨日は氏の股関節手術の話やシーズン中の選手との対応についてなど、氏の信念も交えたお話もあり、ホントに楽しいお酒でした。77歳ながらまだサッカーができる日を夢見てリハビリを続ける氏の姿に感動もしました。来月もまた、氏とお酒のお供が楽しみです。

#### “「小さな人間たちの詩」再び書き始めました。”（2018.10.30）

昨日書きました内閣府主催の「専門分野横断的研修」に参加された方で、本ホームページのこの私の日記や、別ページの「小さな人間たちの詩」を読まれている方から、早々に名刺交換を受けました。いやはや、お恥ずかしいことながら、直接「読んでます！7月下旬、今回の研修に参加する名簿が届いた時、同じ静岡県から受講する人はどんな人なんだろうかと、ホームページを調べて読ませてもらいました。いいお話でした。お会いできてよかったです」と言われると、嬉しいものです。と同時に、「ひげぐま先生のひとりごと（旧題「つれづれなるままに」）」も書かなくちゃと反省しました。それで、こちらも少しずつ書くことにしました。形式もhtml形式ではなく、「小さな人間たちの詩」と同様に、読みやすいpdf形式にしました。宜しくお付き合い下さい。

#### “内閣府主催「平成30年度専門分野横断的研修」受講”（2018.10.29）

ホント久しぶりの本コーナーの書き込みです。ご無沙汰しておりました。この間に、現在86歳の母親が交通事故に遭い、約6か月の入院、リハビリ後、静岡市内の介護施設に当時88歳の父親と共に入居。その6か月後、有限会社静岡オープンスクール本社と

共に、20年振りに最初に建てた藤枝市瀬古の家（両親が住んでいたんですが）を改装して転居。その2か月後、父親が89歳で他界。年が改まった2018年3月、藤枝市前島のASRパソコン教室「ぐるっポ」をやむなく閉鎖。更に同年7月、焼津市大島のふじのくに中央日本語学校と、藤枝市前島のロボット教室を、藤枝市瀬古の自宅の2階に移転。体制を改めました。そして過日10月22日～26日、表題の「専門分野横断的研修」を受講してきました。6年前の同じく4泊5日の内閣府主催「困難を有する子ども・若者の相談業務に携わる民間団体職員研修」に続く研修で、非常に内容の濃い研修でした。これも一重に、この4泊5日間の研修に私が参加できるように取り計らって頂いた職員の皆様のご配慮に感謝するばかりです。ありがとうございます。今回の研修は様々な子ども達の対応における対応する諸団体の連携の仕方を主に、オープン・ダイアログや認知行動療法のやり方、SNS相談のノウハウなど、より実践的な研修ですぐに現場で活かせる内容でした。ただ本音を言わせて頂ければ、内容が濃いだけに私の理解のスピードに合わせて頂けるならば、ホントは今回の研修の1.5倍程度の時間が欲しかったです。それにしても今回の研修も交通費も含めすべての費用が内閣府の負担で行われたもの。皆様の税金で実施されたものを肝に銘じて、今後の様々な青少年の皆様の対応に活かしていきたいと思います。ありがとうございます。

## ”不登校、不就学でも、高校・大学進学を！” 2017.8.27(sun)

クラスに1人はいる不登校生、日常会話はできても”学習方言”（例、数学方言：線をひくの「ひく」は、pull? subtract? run? draw? slide? saw? play? grind?）が多い学習言語が分からず、中学校に多い不就学生。その一方で、定員割れしている高校と大学。全国14万人と言われる不登校生が、全国70万人と言われる引きこもりに。

そんな現在にあって、42年間中学・高校・大学進学指導を行ってきました静岡オープンスクールグループ（東進衛星予備校・東進中学NET藤枝駅南口校、ふじのくに中央日本語学校を含む）が、この21年間196名の不登校・引きこもり等の解消を行ってきたNPO静岡県教育フォーラムと、通信制高校の老舗で、eラーニングコースを持つ科学技術学園高校（東京都世田谷）と提携して、中学校時代に不登校、不就学を経験した若者たちに、良心的な費用で高校卒業資格を得、又は、高卒認定試験合格を得て、旧帝大を含む国公立大学や有名私大を目指す、EAオープンアカデミー（Exam Admission Open Academy-受験勉強に特化した開かれた学校の意味）を、来春、藤枝駅南口に開校します。

不登校、引きこもりは必ず解消します。日本にあって、日本語を母語としない子ども達が、日本語を母語とする子ども達と同等の高校進学率・大学進学率になって初めて「多文化共生社会」に（日系ブラジル新聞編集長・深沢氏曰く）。

不登校・引きこもり・不就学の若者達、最終学歴を高校卒業、又は、専門学校・大学卒業とするなら、その途中は自分を見つけるための道程。高校卒業資格を得、又は、高卒認

定試験合格を得て、旧帝大を含む国公立大学や有名私大を目指そうではないか！

” 学校法人にあらず” 2017. 5. 28 (sun)

3 月提出、10 月開校に向けて準備してきた「ふじのくに中央日本語学校」ですが、建物の名義変更等の手続きで開校が少し遅れます。その申請は私の勘違いで、学校法人申請ではなく、入管の留学ビザを取得できる日本語学校の申請でして、運営は特定非営利活動法人日本インターネットスクール協会静岡事務局になります（結果、建物が基準を満たさず、2018 年 4 月に計画を断念しました）。既に上海や福建省、ベトナム等から問い合わせもあり、7 月準備事業も開始致します。同時に、東進衛星予備校駅北校とパソコン教室、ロボット教室も、7 月に藤枝駅南口に移転することも決意致しました。

また、それを機に、当静岡オープンスクールグループの本部も、私が 26 歳の時に建てた藤枝市瀬古三丁目の家に移し、体制を新たに致します。

” 学校法人設立準備 OK！” 2017. 1. 21 (sat)

センター試験も終わり、当藤枝駅北校の紹介で、藤枝明誠高校も今年から東進のセンターサーチに参加。いよいよ本格的な大学受験シーズン入りしました。当静岡オープンスクールの中学 3 年生も、東進の最終東大模試に合わせて、来月初旬の私立高校受験に備え、本日は模擬試験を行いました。そう、そんな中、昨年 8 月から作成してきました学校法人設立申請書が遂に完成！3 月提出、10 月開校にいよいよ動き出す目途が立ちました。元日に地元の神社で願掛けしました通り、地域日本語教育環境の安定のため、61 歳にして決意しました！今年はまだ大きく動き出します！勿論、周りの方々の力強いご支援があったること。皆様には大変感謝しております。ありがとうございます。

” 頑張れ！受験生。いよいよセンター試験第 1 日目” 2017. 1. 14 (sat)

今日はこのところの一番の冷え込みらしいです。でも、でも！標題通り、東進衛星予備校藤枝駅北校の受験生の皆さん、頑張ろう！日頃の勉強の成果を出し切ろうね！

” 藤枝市観光協会事務局長応募書類、書き上げちゃった！” 2017. 1. 9 (mon)

表題通りです。昭和 46 年の春、藤枝に憧れ藤枝東高校に単願受験を決意した時の想いが、現在募集中の藤枝市観光協会事務局長応募書類を書き上げてしまいました。ギリギリ上限の 2000 字です。目の前に書き上げた課題作文と履歴書、近年の事業実績書があります。勿論、応募したから採用されるではありませんが、旧金谷町から藤枝に住まいして 36 年、外から見る藤枝の魅力を引き出し、もっと皆さんにその魅力を体験して頂きたい想いで一気に書き上げました（結果、不採用でした！）。

さて、そんなことよりやばい！虹の架け橋事業資金、えっ！と、静岡オープンスクールグループの運営資金を確保せねば・・・連休明けは大変です。

”平成 29 年度文化庁「生活者としての外国人の日本語講座」申請書を書き上げる！”

2017. 1. 8 (sun)

昨日の午後から当グループの本部に籠り、本日 18 時 45 分に、表題の書類を書き上げました！次なるはいよいよ学校法人日本語学校申請書の仕上げです。しかしながら、ご存知の通り旧金谷町出身の私が高校時代を過ごした藤枝市に居を移したのも、この藤枝市に故郷を超える魅力があつてのこと。それ故に、正直のところ現在募集中の藤枝市観光協会事務局長応募の誘惑に揺らいでおります。う～ん、明日 1 日でこれまで貯めてきた構想が文章化できれば、二股事業に挑戦しよう！かな・・・。

”「神々の流竄」完読。” 2017. 1. 6 (fri)

なるほど！「隠された十字架」に憑りつかれたのは何年前だったか？梅原氏の著作には何時も刺激されます。

”「神々の流竄（るざん）」（梅原猛著）を読む。” 2017. 1. 4 (wed)

氏が 60 歳の時に書いた大胆な仮説。出雲の地を古代の神々の流竄と説く。約半年ぶりの氏の著作にはまっています。未知の隠されたものを明るい認識の光にさらすとう哲学の手法で、ほんの少しの疑問を説き明かしていく。これは何も古代史研究に限らず、私たちが日々行っている学習指導にも通ずることと思います。日頃学習指導の場で子ども達に言っていることですが、塾などない田舎で育った自分自身がそうだったように、ちょっとした疑問があれば、納得いくまで調べるか、師に聞く姿勢、それこそが真の学力に繋がります。そして、分かった！その知の喜びこそが人間だけが持つ特権です。著はその喜びに浸してくれます。

”明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願い致します。” 2017. 1. 3 (tue)

昨年から無理せず気が向くままに書き留めております。今年も宜しくお付き合い下さい。例年通り、年末からこの方自宅の事務所に籠りっぱなしで、いくつかの計画書を作ったりの毎日です。今年はいよいよ学校法人を設立します！改めて喝を入れております！